

5月17日 総務環境委員会（西山あさみ副委員長、くれまつ順子委員）

請願・陳情
の審査

「性的少数者への支援を」「政務活動費領収書等のネット公開を」など請願7件が保留

総務環境委員会が5月17日に開かれ、請願7件と陳情2件の審査が行われました。

LGBTで1万人アンケートします

性的少数者の支援に関する請願について、くれまつ議員が、他都市での実施状況をただし、福岡市や大阪市がパートナーシップ宣誓制度などを実施（予定）などの説明があり、当事者や有識者の意見なども踏まえて1万人アンケートを実施し、実態を明らかにしたうえで制度についても検討していくことが説明されました。

政務活動費と議員報酬・請願審査

議会関係の請願3件について、くれまつ議員は、政務活動費の使い道をネット公開している他都市の状況を紹介、また、議員報酬は公聴会などで市民の意見をもっと積極的に聞くべき、請願審査は慎重に行うことも重要だが急いで審査する必要のある場合は審査方法を

を改善することも必要だ、など請願採択を求める立場で発言しました。3件とも慎重に検討していくとして「保留」になりました。

地方自治や身近な議会

その他、地方自治の堅持や尊重を求める請願3件は引き続き「保留」に、議会関係の陳情2件は「ききおく」となりました。

なお、旅費日当については、職員も議員も同様に国に準じた制度（東京都内など目的地域内を巡回するための交通費と出張中の諸雑費を定額で支給する。事務手続きの簡素化を図るため定額）になっていること、国や17政令市は定額支給、愛知県は交通費を実費で、雑費は低額で支給、交通費の定額支給が1政令市、交通費のみ実費支給が2政令市であることも示されました。

総務環境委員会での請願審査の結果（2018年5月17日）

	請願・陳情名（請願・陳情者）	請願項目	結果
新規陳情	名古屋市旅費条例の改正を求める陳情（天白区住民）	名古屋市旅費条例を改正し、日当を廃止する	ききおく
	議会改革として市会における用語の改善を求める陳情（天白区住民）	本会議や委員会で、一般的な日本語を使用する。（例：お示しします、発言をお許しします、など）	ききおく
保留請願	地方自治の堅持を求める意見書提出に関する請願（千種区民）	住民自治及び団体自治を2本柱とする地方自治を堅持する	保留
	地方自治の尊重を求める意見書提出に関する請願（新日本婦人の会名古屋支部）	地方自治を尊重する	保留
	自治体及び住民意思の尊重を求める意見書提出に関する請願（子どもを守り隊避難者グループ）	自治体及び住民意思を尊重する	保留
	性的少数者の支援に関する請願（特定非営利活動法人PROUD LIFE）	1. 性的少数者のための電話・来所による相談窓口やコミュニティスペースを設置する 2. パートナーシップ証明等の性的少数者に関する諸制度を検討するための調査や検討会の設置を行う	保留
	政務活動費の収支報告書、会計帳簿及び領収証の全てをネットで公開することを求める請願（市民の会なごや）	1 政務活動費の収支報告書、会計帳簿及び支出に係る領収書をネットで公開する	保留
	現行の「議員報酬1455万円」は、民意を反映しているとは言いがたく、直ちに800万円に戻すこと等を求める請願（市民の会なごや）	1 現行の「議員報酬1455万円」は800万円に戻す 2 報酬審議会のみでなく公聴会制度等を広く活用する 3 議員報酬引き上げの説明責任を果たす	保留
	名古屋市議会における請願制度の改善を求める請願（南区住民）	1 締め切り日以前に受け付けた請願は、愛知県議会と同様、その会期中に審査を 2 請願・陳情の受付の締め切り日を公表するなど、その仕組みを周知する	保留